

製品名: PEBP2 β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15949**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

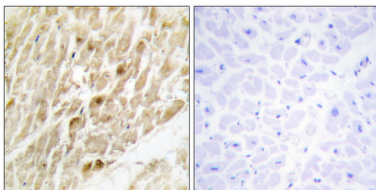
遺伝子名	CBFB CBFB; Core-binding factor subunit beta; CBF-beta; Polyomavirus enhancer-binding protein 2
別名	beta subunit; PEA2-beta; PEBP2-beta; SL3-3 enhancer factor 1 subunit beta; SL3/AKV core-binding factor beta subunit
遺伝子 ID	865.0
SwissProt ID	Q13951
免疫原	抗血清はヒト CBF ベータ由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 11-60

背景

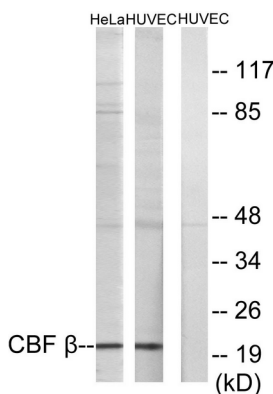
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PEBP2/CBF 転写因子ファミリーに属するヘテロ二量体コア結合転写因子の β サブユニットであり、造血 (例: RUNX1) および骨形成 (例: RUNX2) に特異的な多数の遺伝子をマスター制御します。 β サブユニットは DNA に結合しない制御サブユニットであり、マウス白血病ウイルス、ポリオーマウイルスエンハンサー、T 細胞受容体エンハンサー、GM-CSF プロモーターなど、様々なエンハンサーおよびプロモーターのコア部位に結合することで、 α サブユニットによる DNA 結合をアロステリックに促進します。選択的スプライシングによって、それぞれ異なるカルボキシル末端をコードする 2 つの mRNA バリエーションが生成されます。場合によっては、染色体 16 のペリセントリック逆位 (inv(16)(p13q22)) により、コア結合因子 β の N 末端と平滑筋ミオシン重鎖 11 の C 末端が融合したキメラ転写産物が生成される。疾患: CBF β に関連する染色体異常は、M4EO サブタイプの急性骨髄性白血病と関連している。ペリセントリック逆位 inv(16)(p13;q22)。この逆位により、CBF-beta (PEPB2) の N 末端 165 残基と MYH11 の末端領域からなる融合タンパク質が生成される。機能: CBF は、マウス白血病ウイルス、ポリオーマウイルスエンハンサー、T 細胞受容体エンハンサー、LCK、IL-3、GM-CSF プロモーターなど、多くのエンハンサーおよびプロモーターのコア部位 (5'-PYGPGGT-3') に結合し、RUNX1 による DNA 結合を促進する。類似性: CBF-beta ファミリーに属する。サブユニット: RUNX1 とのヘテロ二量体。

研究分野

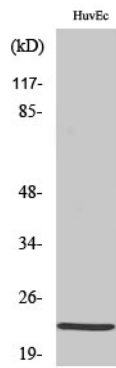
画像データ



CBF β 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CBF β 抗体を用いた HUVEC および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



PEBP2 β ポリクローナル抗体を用いたさまざまな細胞のウエスタンブロット解析。